

一般財団法人 研究学園都市コミュニティケーブルサービス
第 38 回 放送番組審議会 議事録

- 1 日 時 平成 30 年 2 月 22 日（木） 10 時 30 分～12 時 00 分
2 場 所 オークラフロンティアホテルつくば アネックス 2 階夕映の間
3 出席者 中山 伸一会長、柴原 徹委員、生田目 美紀委員、馬場 清康委員
ACCS
高田理事長、石川副理事長、小山理事、足立理事、渡辺放送部長、
竹野放送第 1 課長、小野放送第 2 課長

4 議案の審議経過等

- (1) 会議に先立ち、定足数の確認を行ったところ、出席委員は 4 名であり、委員総数 7 名の過半数を超えていることから、放送番組審議会規定第 4 条 1 項の規定により、本審議会は有効に成立していることを確認した。
- (2) 議事に入る前に、高田理事長から挨拶があった。その中で ACCS の放送事業の現状と今後について、①動画配信サービスが参入し、若い人のテレビ離れもあり、ACCS を取り巻く環境は厳しい②コミュニティチャンネルは地域に密着した番組の充実を図り、多チャンネル放送は PR を拡充し、よりサービスに親しんでもらう施策が必要③今年 12 月には BS4K 放送が始まる。4K 放送サービスの提供は必須と考えている。4K 放送を契機にお客様の獲得に努める、との考えを示した。
- (3) 中山会長の進行で議事に移り、まず平成 29 年度制作・放送番組のダイジェスト VTR(20 分)を上映。続いて、担当課長から、①コミュニティチャンネル放送②多チャンネル放送の説明があり、その後意見交換を行った。

5 意見交換

- (1) コミュニティチャンネル放送について
- 柴原委員 つくば市は、市内の大学と連携を強化し、学生のスキルを活かして共同事業を進めている。Bivi つくばにあるつくば市の施設は筑波大学と共同で運営し、学生が積極的に活用し、市内の研究機関も子供向けの実験教室を開いている。市の持っている資源なので、大学や研究機関との連携を積極的にやるとよい。ACCS の加入者が昨年より減少しているが減少の要因は何か？
- 渡辺部長 一契約で何百世帯もあるような大規模集合住宅が、ケーブルテレビから光サービスなどに切り替えて解約することが一番大きい。
- 柴原委員 つくば市は災害情報を含めて市の情報を提供しているが、音声や文字だけより動画が一番伝えるのに効果的なので、ACCS がつくば市内のどこでも見られるよう整備されるといい。

- 生田目委員 (VTR の) 3つの新番組はどれも地域に密着している。チラシだけでは伝わらない情報が放送というメディアで有意義に伝わるので、3番組は ACCS の目標に沿っていると思った。今回上映された「市長が語る」(フォレストアドベンチャーで収録)は印象的で、市長の積極的な協力があり、今までとは違っていると思った。「まつりつくば」は毎回、生中継がメインだが、何年も放送しているので、過去のまつりを振り返るといった番組もそろそろ作れると思う。「茨城県からのお知らせ」(自動車盗・住宅侵入)は、あのような侵入の手口は知らず衝撃的で、一般市民の目線でいい番組だと思った。
- 馬場委員 新番組「らこたん♪」は、前の「たや ch」とはキャラクターが違って今後が楽しみだ。「茨城県からのお知らせ」は、ケーブルテレビ協議会が作っており充実している。
- 小野課長 「茨城県からのお知らせ」は来年度大分変わる。今の10分番組はなくなり、5分番組になる、と県の広報広聴課からは聞いている。
- 馬場委員 著作権の問題もあるだろうが「イバキラ TV」で良いものを ACCS でも放送したらいいと思った。JWAY は投稿という形で自分の番組を「イバキラ TV」で流しているが、ACCS もそうしたらどうか。世界湖沼会議は、すでに関連イベントを放送しているが、本会議はどのような切り口で取り上げるのか。
- 小野課長 前回23年前の湖沼会議と比較してみたい。当時の湖沼会議の事務方から話を聞くなどを考えている。
- 馬場委員 皇太子殿下は、世界湖沼会議が皇太子としての最後の行啓になると思う。国体は天皇としてのはじめての行幸となる可能性がある。今回、特集で行幸啓の模様を追っていたが皇室の視点も混ぜたら面白いと思う。
- 中山会長 地域の人に地域の情報を提供するのが ACCS の役割だと思う。「茨城県からのお知らせ」のように、県全体の番組を作ることに疑問を感じた。各ケーブルテレビの地域性を出した番組を組み合わせて県の情報発信につなげるようにしないと、地域の特色がなくなってくる。県の番組は県が作るべきで、この番組はケーブルテレビが県の下請けになっているように思えた。新番組「らこたん♪」のように、地域のちょっとした情報を提供するためには、バラエティー番組的なやり方がうまく合致している。ただ、情報の選択基準が気になる。バラエティーだから厳しい基準はいらないだろうが、番組を作る時、誰かから聞いた情報をただ流すのではなく、広い情報収集のネットワークを持って、そこから集めた情報から選択した方がよい。学生を活用するという委員の意見があったが、学生の力を使うより、学生の活動そのものを紹介する方がよい。前回の番組審議会でも若い人の視点という意見があったが、番組編成に取り入れたらどうか。災害・緊急時の体制はどうか。
- 副理事長 災害と緊急時において、つくば市と災害協定を結び、市から要請があれば ACCS で流すという体制になっている。その協定が最初に発揮されたのは竜巻の被害の時だった。若干、機動性に欠けるので市と協議を重ねて、緊急性のあるもの

を即時的に出せるよう考えている。

小野課長 つくば市で緊急でテロップを打ち出せる仕組みにしているが、市の担当が変わると、やり方がわからなくなってしまう。今後は、できることを市に伝え体制の強化に努めたい。

中山会長 災害時に一番情報を持つのは市役所なので、そこから情報を橋渡しするシステムを持っていると有効だと思う。一方、まだ見られない地域をどう埋めていくのかという問題は長期的な展望で検討してほしい。

(2) 多チャンネル放送について

中山会長 4K 放送がケーブルテレビを普及させる強力な手段になるという見込みは？ケーブルテレビには 4K 放送に移行しやすいメリットはあるのか。

渡辺部長 4K 放送は、だいぶ高い周波数を使う。一般家庭のアンテナ受信の場合、4K 放送を見るために、アンテナ・増幅器・分配器を交換しなければならず、工事費は 5 万～20 万円かかるだろう。また今の市販の 4K テレビは、4K 放送を受信するために別にチューナーが必要。しかし、ACCS では、STB をつければ簡単に 4K 放送が見られる。ACCS としては、フルで放送して顧客を獲得したい。

中山会長 4K 放送を見る技術的なメリットはケーブルテレビにあるので、放送の目途がたったらできるだけ早くケーブルナビなどを使って 4K のメリットをアピールしたらどうか。

生田目委員 多チャンネルの番組が時々入れ替わるのはなぜか。

渡辺部長 番組購入費用の折り合いがつかないときや番組の評判がよくないときは入れ替えてお客様に新しい番組を見てもらうようにしている。

中山会長 以前は視聴者からアンケートを取っていたようだが。

理事長 ディズニーチャンネルは、お客様からの要望で入れた。

生田目委員 多チャンネル放送をハイビジョンに変える基準は何か。

渡辺部長 ハイビジョン化は徐々に進めてきた。放送側が ACCS で放送していない帯域でハイビジョン番組を流していると ACCS では放送できないが、ACCS で放送している帯域でハイビジョンの放送が始まったら、なるべく早めに放送するようにしている。

生田目委員 4K 放送の普及をきっかけにもう一回盛り上げたいという話があるが、どんな番組をそろえているかということと、その中でどの番組が 4K 放送に対応しているかが大切。番組の構成も、勝負をかけていくときに大事になると思った。

馬場委員 私は地上放送と BS 放送でいっぱいだが、どれだけの人が多チャンネルを見ているのか、わかるのか。

渡辺部長 現在、視聴率はわからないが、近い将来、その辺が見られるようになってくる。また、サプライヤーからの視聴率データがあるので、その辺で判断している。

馬場委員 みなさんは、どのような多チャンネルを楽しんでいるのだろうか。

理事長 例えば、スポーツが好きな人はそればかり見ているだろう。

中山会長 ガイド誌を読み込むと多チャンネルの内容がわかるが、大抵はガイド誌の初めの方を見て番組を選んでいる。ガイド誌の作りが影響すると思う。

理事長
馬場委員 BS4K 放送は、NHK は独自に、民放は共通で放送の予定だがまだ決まっていない。今、ライト・ベーシック・プレミアと3つのコースがあるが、4K 用のコースを作るのか。

渡辺部長
馬場委員 4K 用のコースは設けず、どのコースでも見られるようにする。
お金をかけず今のままで 4K 放送が見られるなら、ACCS に入るきっかけになるかもしれない。

理事長 ただ、STB ができていないという問題もあるし、4K 放送時に料金をどうするか、検討中。

中山会長 地域放送という視点で今後良い番組を作ってほしい。しかしある程度視聴者数がないとせっかく作った番組が役に立たないので、多チャンネルを含めて上手く売り込み、より多くの地域で見られるようにしてほしい。